

令和7年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 教授 長谷川収

取組状況	
教育	<p>1. 専攻科</p> <ul style="list-style-type: none">・機械要素学: 受講生が4名で、目がよく行き届いた。自ら考えて課題に取り組む姿勢が評価できる。・ED: テーマを学生に提案させた結果、3Dプリンターを使用した傘立ての製作を行った。3名グループ2班で取り組ませ、機能を満たすための形状の改良を体験させることができた。 <p>2. 本科</p> <ul style="list-style-type: none">・工学実験実習: ノートを作成し、内容を理解した上で自らデータ整理をすることができていない学生が多く、レポートの指導には相当の時間を要した。
研究	<p>1. 学会発表</p> <ul style="list-style-type: none">・ウイング式ダイを応用した曲げ加工, MF-TOKYO2025 日本塑性加工学会 研究室 研究発表。・長谷川収, 吉原正一郎, 西村尚: 球頭パンチを用いたSUS304パンチングシートのプレス絞り成形におけるr値の板面内異方性, 第76回塑性加工連合講演会講演論文集(2025), 167-168. <p>2. 産学連携</p> <ul style="list-style-type: none">・マグネシウム合金角管のプレス曲げ実験・圧縮試験曲げ試験 建材メーカーから、押出し条件の明確なマグネシウム合金角管の提供を受け、卒研を通じて実験を行った。押出しの頭部と尾部とでは、材料特性や曲げ加工性に大きな差がないことが確認できた。
社会貢献	<p>1. オープンカレッジ</p> <p>竹とんぼとPETボトルロケットを作る講座を実施し、子供たちを楽しみながらものづくりを学んでもらった。</p> <p>2. 若手技術者支援講座</p> <p>機械設計技術者試験対策では、機械要素と材料加工、加工の分野ではプレス加工に関する講義を実習付きで実施した。</p> <p>3. 学会活動</p> <p>日本塑性加工学会の東京・南関東支部の庶務幹事として、技術フォーラム2回と、見学会を兼ねた技術サロン1回を実施し、会員間の交流に協力した。軽金属学会では、企画委員として、軽金属セミナー中級編の運営・実施に協力した。</p>